

## 自然環境保護・ 保全事業

日本の四季折々の美しい自然や貴重な生態系を次世代に受け継いでいくために、セブン-イレブン記念財団は「九重ふるさと自然学校」を拠点に活動すると共に、さまざまな団体とパートナーシップを組み、保護・保全活動を推進しています。

### 九重ふるさと自然学校

セブン-イレブン記念財団が大分県九重町で運営する九重ふるさと自然学校は、「人と自然、自然環境と地域社会の共存・共栄を自然から学ぶ」を理念に、地元の方々の指導・協力を得て「くじゅうの自然保護・保全」と「トキのすめる里づくり」の活動をしています。



トキのすめる田んぼづくり

2011年度は、身近な材料で炭を作る「ドラム缶炭焼き体験」などの新しいプログラムも実施し、多くの方にご参加いただきました。8月の「第7回トキこども大使」には、地元小学校などから4名が参加しました。



ドラム缶炭焼き体験

### 自然遺産保護・保全活動

#### ▶ 霧多布湿原保全活動

北海道の認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラストとパートナーシップ協定を結び、霧多布湿原の民有地などを取得し、保全していくナショナルトラスト活動を行っています。2011年度までに取得した湿地は、累計で約405haとなりました。



霧多布湿原はラムサール条約登録湿地  
撮影：ノーザンビレッジ 北村康春

#### ▶ 森を育てCO<sub>2</sub>を減らす「里地里山プロジェクト」

11月5日、東京都立野山北・六道山公園で、地球温暖化防止と生物多様性の視点から里地里山の整備活動を行いました。陽が射すようになった林で、元気に木が育ち、二酸化炭素をたくさん吸収してくれることでしよう。



班ごとに一列になって剪定鋏でササを刈ります

#### ▶ グリーンウェイブ2011

「グリーンウェイブ」は、国連の生物多様性条約事務局の呼びかけによる植樹活動です。当財団は、広報活動と苗木の提供に協力しました。「グリーンウェイブ(緑の波)」という名称は、植樹された樹木が、地球上を東から西へ波のように広がって行く様子を表現しています。



三東保育園(熊本)の園児による  
グリーンウェイブ植樹活動

#### ▶ 海の森づくり「東京湾再生アマモプロジェクト」

東京湾にアマモを取り戻そうと6月5日、神奈川県横須賀市走水海岸で種のついたアマモの花枝を採集して、神奈川県水産技術センターの水槽に移植する活動を行いました。アマモは、海をきれいにして、CO<sub>2</sub>(二酸化炭素)を減らす藻です。



水温18度の海でアマモを採種

#### ▶ 日光杉並木保護活動

栃木県の「日光杉並木街道」は、日本で唯一の特別史跡・特別天然記念物の二重指定を受けている貴重な文化財です。年間平均30本の杉が枯れるなど、危機的な状態にある杉並木を保全するために、2011年度は車両等が根を踏み固めるのを防ぐ、踏込防止柵を設置するなど、約12,400本の日光杉並木の保護活動を支援しました。



樹齢380年を超える日光杉並木街道